

校長室だより <R4：第1号>

令和4年度から、本校の校長として着任いたしました。

今年度は、幼稚部4名、小学部11名、中学部8名、高等部本科9名、高等部専攻科2名、計34名の幼児児童生徒数でスタートしました。

コロナ禍ではありますが、学校行事や校外学習など、子どもたちにどのような力を育んでいくかを考え、感染防止対策を取りながら進めているところです。

「一人一人としっかり向き合い、子どものもつ力を最大限に伸ばしていく」という本校の使命を肝に命じ、保護者の皆様、地域の方々、医療・福祉・労働等の関係機関と連携して教育活動の充実に努めてまいります。



本校では、幼児児童生徒に「生きる力」を育むことを目指します。

本校の教育目標

『豊かな言葉と自立の力を育む』

めざす子どもの姿

『よく見て・聴いて・考え（判断し）、しっかり伝え（説明し）・行動（対応）する人』

育てたい資質・能力

『言語能力 思いやりの心 自己肯定・有用感』

このような教育目標の達成に向け、全教職員が聾学校の使命を自覚し、幼児児童生徒、保護者との相互信頼のうえに、個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づく指導を行います。その際、子どもにとって安全安心で魅力ある学校生活になるよう努めてまいります。

このため、今年度は次の三点に重点を置き、学校経営を進めてまいります。

- ① 障がいの多様化に応じ、一人一人の生きる力を育む指導・支援の充実を図る。
- ② 各学部、寄宿舎において、学びの連続性のある指導の充実を図ると共に、社会に開かれた教育課程の実現を推進する。
- ③ 聴覚障がい教育の専門性を高め、センター的機能を強化すると共に、保護者・地域・関係機関等から信頼される学校づくりを進める。

本校の教育について、今年度もご理解、ご協力をお願い申し上げます。

山形県立山形聾学校

校長 庄司 美千代